

# 地域金融機関と日本政策金融公庫との連携状況 ～創業を中心として～

平成30年1月19日

財務省大臣官房政策金融課

# 日本公庫の民間金融機関との協調融資の実績

## ○平成29年度上半期(4月～9月)実績

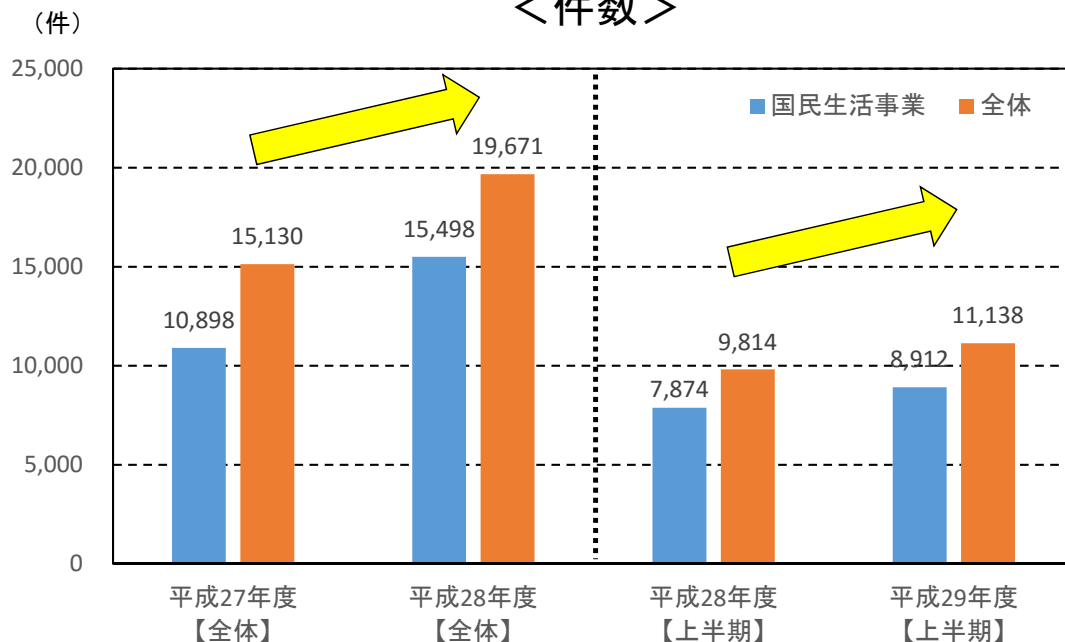
(単位:件数・億円)

		都市銀行	地方銀行	第二地方銀行	信用金庫	信用組合	その他	合計	
								件数	金額
全体	件数	550	3,126	1,568	4,774	804	316	11,138	113%
	金額	643	1,466	385	782	124	320	3,772	110%
うち国民生活事業 (対創業者等)	件数	258	2,163	1,306	4,393	764	28	8,912	114%
	金額	42	250	142	465	77	3	982	114%

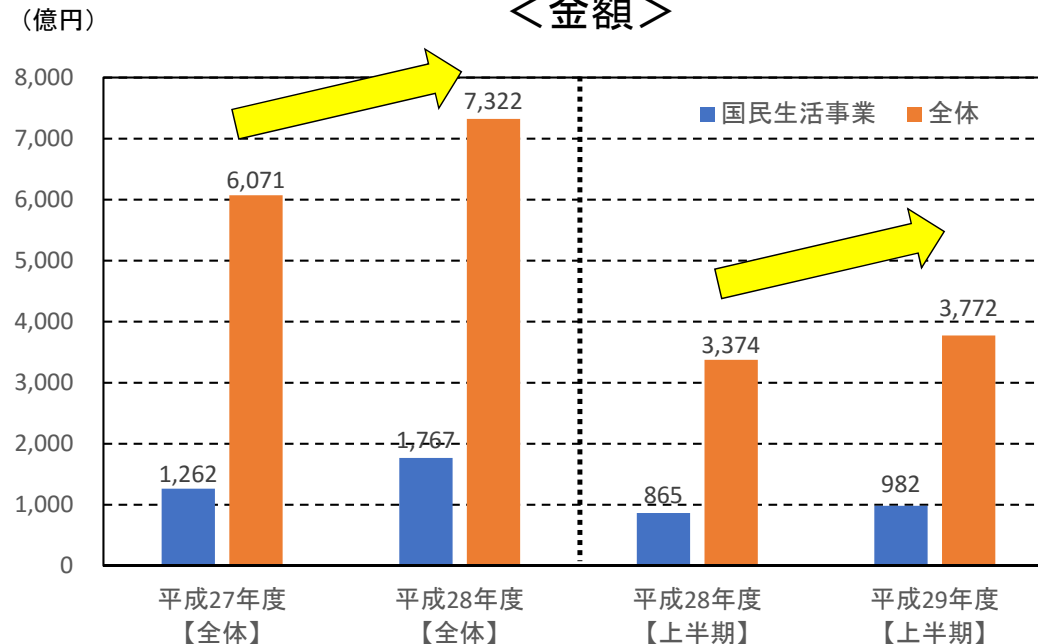
(注)同一の資金計画に対し、日本公庫と民間金融機関が協議を経たうえで、両者が融資(保証)を実行または決定したもの(日本公庫が集計。両者の融資実績・決定時期が異なる場合も含む)。

## ○実績の推移

### <件数>



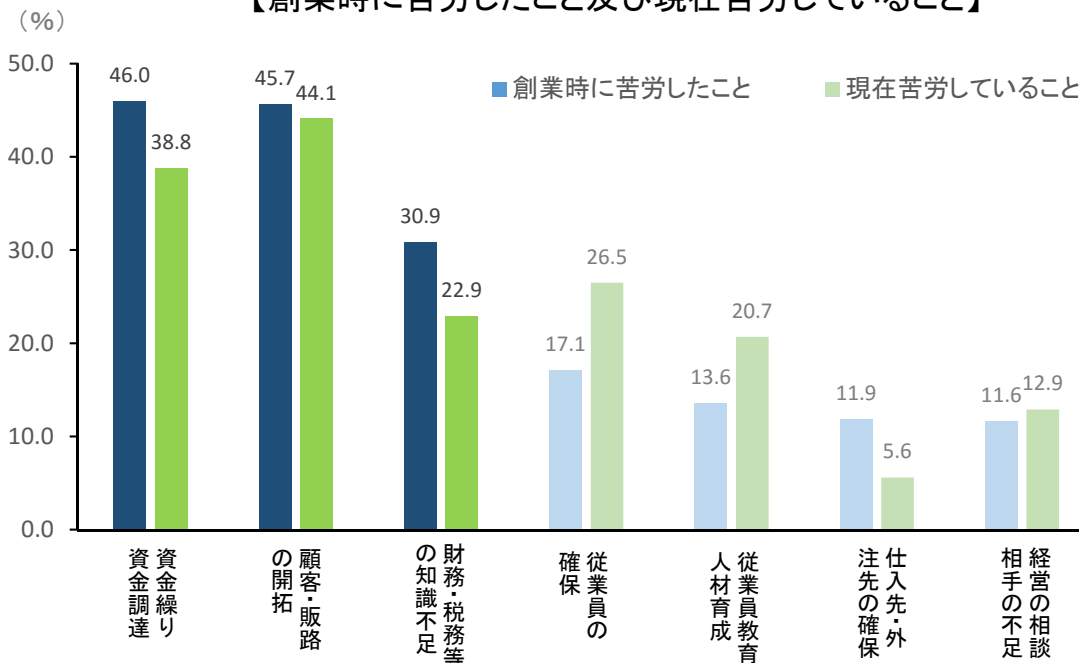
### <金額>



(出典)日本公庫のHPを基に政金課作成。

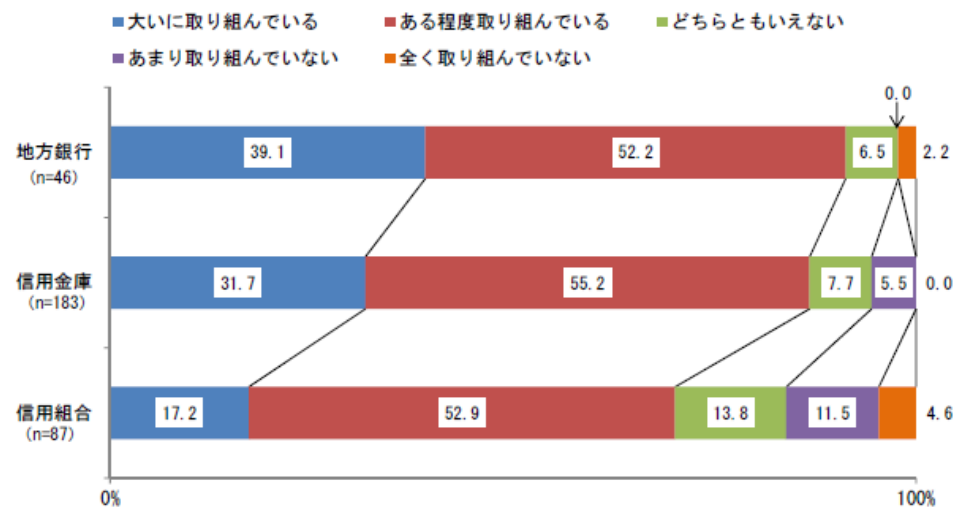
# 創業金融の重要性

## 【創業時に苦労したこと及び現在苦労していること】



出典：日本公庫総合研究所「2016年度新規開業実態調査」を基に、政金課で作成

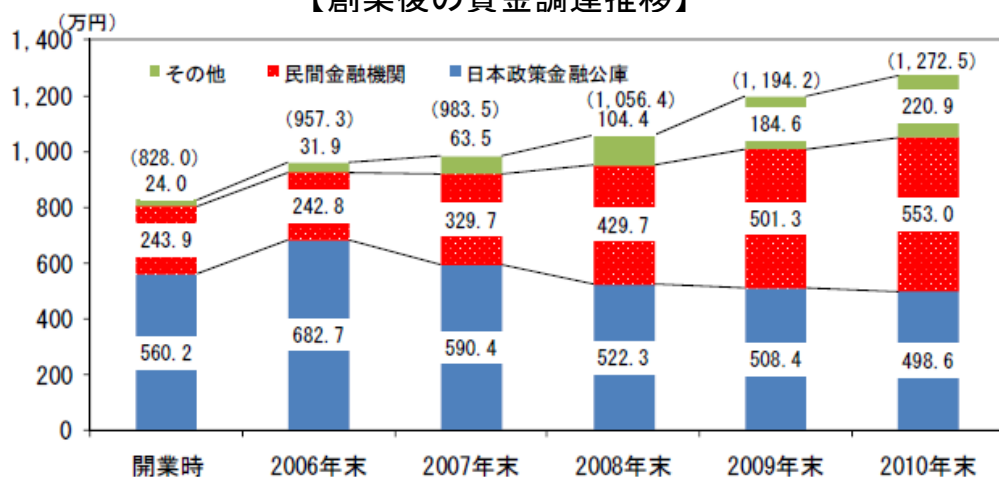
## 【地域中小企業への起業・創業支援の状況】



(出所) 中小企業白書 (2015年版)

日本銀行作成資料より抜粋

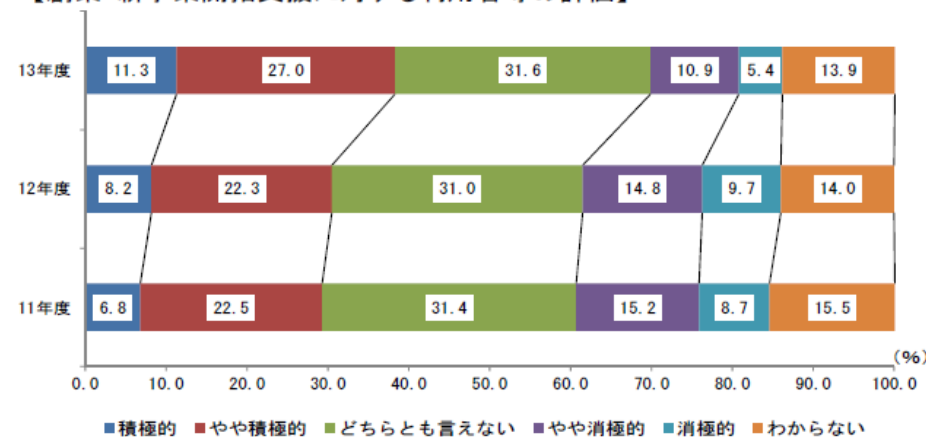
## 【創業後の資金調達推移】



(出所) 日本政策金融公庫「新規開業パネル調査結果」

- (注) 1. 開業時と、2010年までの各年末時点について借入残高が確認できた企業 (510社) について集計。廃業した企業は含まない。  
 2. 「その他」は地方自治体 (制度融資) とその他の公的機関の合計。  
 3. ( ) 内は借入残高の合計。

## 【創業・新事業開拓支援に対する利用者等の評価】



(出所) 金融庁：「地域金融機関の地域密着型金融の取組み等に対する利用者等の評価に関するアンケート調査結果等の概要」 (平成26年8月)

日本銀行作成資料より抜粋

# 未来投資戦略2017(平成29年6月9日閣議決定)(抄)

## Ⅲ 地域経済好循環システムの構築

### 1. 中堅企業・中小企業・小規模事業者の革新/サービス産業の活性化・生産性向上

#### (2) 新たに講ずべき具体的施策

ii) 金融機関の活用や一貫した支援体制の構築を通じた、生産性向上や円滑な事業再生・事業承継、適切な新陳代謝等の促進

地域での創業を活性化し、事業の持続可能性を向上させる観点から、日本政策金融公庫等の政府系金融機関と地域金融機関・中小企業支援機関・地方公共団体等の連携を促進し、創業前後で切れ目なく経営支援とともに  
行う創業金融を活性化するため、本年度中に、創業支援ネットワークの取組や地域金融機関との協調融資スキーム等の優良事例の分析・収集・発信を行う。

# 今回意見交換を実施した地域金融機関

北海道	①北海道	北海道銀行
		北洋銀行
		室蘭信用金庫
		帯広信用金庫
		旭川信用金庫
東北	②青森県	みちのく銀行
	③宮城県	仙台銀行
	④山形県	鶴岡信用金庫
	⑤福島県	いわき信用組合
	関東	⑥埼玉県
埼玉縣信用金庫		
⑦東京都		亀有信用金庫
		昭和信用金庫
⑧千葉県		千葉信用金庫
⑨長野県	長野県信用組合	
北陸	⑩富山県	北陸銀行
	⑪石川県	北國銀行
		金沢信用金庫
	⑫福井県	福井信用金庫

東海	⑬静岡県	浜松信用金庫
	⑭岐阜県	十六銀行
		岐阜信用金庫
	⑮愛知県	名古屋銀行
	豊川信用金庫	
近畿	⑯三重県	百五銀行
		桑名信用金庫
	⑰京都府	京都信用金庫
中国	⑱大阪府	池田泉州銀行
		大阪信用金庫
		成協信用組合
四国	⑲島根県	日本海信用金庫
	⑳広島県	もみじ銀行
		広島信用金庫
九州		広島銀行
	㉑香川県	百十四銀行
	㉒徳島県	阿波銀行
福岡	㉓愛媛県	愛媛銀行
		伊予銀行
	㉔大分県	大分県信用組合
		大分銀行
九州	㉕熊本県	熊本県信用組合
	㉖宮崎県	延岡信用金庫
	㉗鹿児島県	鹿児島相互信用金庫
福岡	㉘福岡県	福岡銀行
		西日本シティ銀行
		福岡ひびき信用金庫
沖縄	㉙佐賀県	佐賀銀行
	㉚沖縄県	琉球銀行



# 事例 1 昭和信用金庫（東京都）

- 日本公庫との勉強会などを通じて、顔の見える関係を構築し、融資審査ノウハウも習得。
- 日本公庫との創業融資に係る協調融資商品の創設により、協調融資に取り組みやすく。

## ➤ 連携の取組み

- ・創業支援セミナーや物産展（三ツ星バザール：創業者は出展料無料）、ビジネスマッチング交流会などについて、日本公庫・商工会議所との共催や連携。
- ・昨年より四半期毎に当金庫事業支援課、日本公庫渋谷支店による情報交換会を開催。具体的な審査方法や、連携実績を上げるための方策について担当者レベルで協議。
- ・毎年、日本公庫渋谷支店で勉強会を開催。28年度は支店長、27年度は主に融資役席が対象。目利き力向上につながるような融資審査ノウハウについても、日本公庫から手ほどき有り。また、日本公庫各支店が当金庫支店での勉強会を開催（28年度は8店舗）。
- ・日本公庫との間で、女性・若者・シニアを対象とした、創業融資に係る協調融資商品「三ツ星創業サポート」を29年1月より取り扱いを開始。これにより、日本公庫との協調融資を行いやすくなり、ひいては創業融資自体にも取り組みやすくなった。

## 【「三ツ星創業サポート」概要】

協調融資 商品	三ツ星創業サポート	
	昭和信用金庫 (女性若者シニア創業サポートローン)	日本政策金融公庫 (女性若者シニア起業家資金等)
ご利用いただける方	・女性、若者(39歳以下)、シニア(55歳以上)で、昭和信用金庫の営業地区内で創業される方又は創業後5年未満の方。 ・昭和信用金庫の会員または会員資格を有する方	
融資限度額	2,000万円以内(昭和信用金庫と日本政策金融公庫との融資合計額) 融資割合は原則5対5ですが、内容等により融資割合や合計額を変更することがあります。	
担保	原則、無担保	
その他	・詳細は両機関の商品取扱要領等に準じます。	

## ➤ 政策金融機関との連携による当金庫側のメリット

- ・勉強会や情報交換会を通じて、融資審査のノウハウの手ほどきを得られ、当金庫行員の目利き力向上に寄与。
- ・協調融資商品を取り扱うことにより、営業店としても、協調融資を行いやすくなる。

## ➤ 当金庫の創業融資の実績

(昭和信用金庫HPより)

26年度		27年度		28年度		29年度(上半期)	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
23件 (1件)	1億1,900万円 (700万円)	33件 (1件)	2億100万円 (800万円)	50件 (8件)	3億2,700万円 (4,400万円)	37件 (4件)	2億1,200万円 (1,400万円)

※創業後5年未満の先。第2創業を含まない。( )は、協調融資。 ※「三ツ星創業サポート」の29年3月～9月末実績(累計)は、6件・3,150万円。

## 事例2 北陸銀行（富山県）

- 日本公庫支店との間で、営業店レベルでの親密化により、個別案件でスムーズな連携を実現できる態勢を構築。メニューが豊富な協調融資スキームと相まって、協調融資が加速。
- 日本公庫は創業者の発掘を、当行は協調融資後のフォローアップという補完関係を構築。

### ▶ 北陸3県創業支援協調ユニット「ほくりく創業応援ハーモニー」（29年2月～）の概要

- ・ 当行への相談について、下審査を行い金額・業種などを勘案して、創業者の同意を得た上で、協調融資に持ち掛ける。
- ・ 支援メニューとしては、①創業計画の策定支援、②創業資金の融資、③セミナー・ビジネスマッチング・商談会の案内、④各種補助金・助成金の相談、⑤HP無料作成サービス（当行単独）など。

### 【日本公庫による当行行員向け勉強会の実施状況】

#### ▶ 連携の取り組み

- ・ 日本公庫北陸創業支援センターが中心となって、日本公庫富山支店、金沢支店と毎月定例的に情報交換会を開催。
- ・ 情報交換会では、①勉強会（営業店レベル）の実施状況・今後の予定確認、②協調融資案件の実績、仕掛案件の確認及び課題・対応策の共有、③支店担当者の擦り合わせなど。
- ・ 当行は創業者情報の収集、創業支援セミナー（日本公庫と共催：年6回開催）の集客という点を日本公庫に期待。一方、日本公庫は協調融資後のフォローアップを当行に期待。

日本公庫 管轄地区	28年下期		29年上期		計	
	回数	対象店	回数	対象店	回数	対象店
富山	2回	2ヶ店	4回	5ヶ店	6回	7ヶ店
高岡	-	-	4回	7ヶ店	4回	7ヶ店
金沢	-	-	9回	10ヶ店	9回	10ヶ店
小松	1回	1ヶ店	2回	4ヶ店	3回	5ヶ店
福井	-	-	4回	5ヶ店	4回	5ヶ店
武生	-	-	3回	4ヶ店	3回	4ヶ店
計	3回	3ヶ店	26回	35ヶ店	29回	38ヶ店

#### ▶ 政策金融機関との連携による当行側のメリット

- ・ 創業のロットの規模と渉外コストを考慮した場合、創業者発掘に際し、接点が豊富な日本公庫の協力は効率的。

#### ▶ 当行の創業融資の実績

26年度（下半期）		27年度		28年度		29年度（上半期）	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
128件 （一件）	19億2,400万円 （一円）	166件 （一件）	24億8,800万円 （一円）	155件 （2件）	25億7,400万円 （1,000万円）	82件 （20件）	11億3,300万円 （1億1,550万円）

※創業後1年未満の先。第2創業を含まない。( )は、協調融資。-は未集計。

# 事例3 大阪信用金庫（大阪府）

- 日本公庫・FVC(株)※とともに、「だいしん創業支援ファンド“この街のホームドクター”」を運営。日本公庫の強み（優良顧客、審査ノウハウ）、FVCの強み（投資ノウハウ）を活用し、主に小規模事業者（株式上場は前提とせず）を支援。

※FVC(株):フューチャーベンチャーキャピタル株式会社(投資事業組合の運営会社)

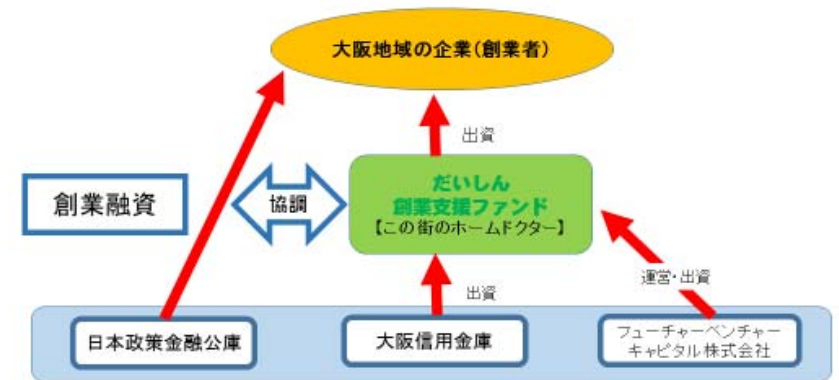
## ➤ ファンド概要

- ・ ①設立日：2014年9月、②存続期間：2027年9月まで、③ファンド総額：5億円、④対象企業：創業後5年未満
- ⑤投資額：300万円～1,000万円、⑥投資方法：種類株式、新株予約権等

## ➤ 連携の取組み（ファンドに関して）

- ・ 投資検討会を月1回開催（3者出席）。投資見込み案件から投資先の進捗状況まで幅広く議論。なお、案件は、日本公庫やFVCからの紹介、行政機関の企画受賞者などから選定。
- ・ ファンドによる投資見込み先に対して、FVCとともに事業計画作成支援を実施。
- ・ 当金庫・FVCのそれぞれが定期的に投資先を訪問し、アフターフォローを実施しており、破綻件数ゼロ。

【だいしん創業支援ファンド・スキーム図】



(大阪信用金庫HPを基に、政金課作成)

## ➤ 政策金融機関との連携による当金庫側のメリット

- ・ 優良案件の紹介を受けることができ、創業後の新たな資金ニーズの可能性が高まる。
- ・ 日本公庫との協調を通じて、公庫の審査目線を知ることができ、当金庫の創業融資のノウハウ蓄積に寄与。

## ➤ ファンドの実績

※当初ファンド総額は設立時3億円であったが、28年度に総額に迫ったことから、29年度に5億円に増額し期間も延長。

26年度		27年度		28年度		29年度(上半期)		合計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
2件	1,500万円	9件	7,700万円	20件	1億9,200万円	5件	4,500万円	36件	3億2,900万円

※ 上記を除く投資候補は143件。



## 事例4 広島信用金庫（広島県）

- 日本公庫支店との間で、支店渉外担当役席者の連絡先（名簿）を共有することで、顧客からの相談に対し連絡を取り合える体制を整備。
- 日本公庫との協調融資により、創業者に対する柔軟な融資が可能に。

### ➤ 連携の取組み

- ・ 日本公庫とは、17年9月に新規開業支援等の分野に係る「業務連携・協力に関する覚書」を締結。18年11月より、当金庫主催の「創業応援サロン」（※）にて、日本公庫から講師派遣などを実施。

（※）起業家が日本公庫・ひろしま産業振興機構・土業等の専門家の前で事業計画をプレゼンし、アドバイスを受ける取組。平成28年9月までに31回開催しており、97名が参加（約7割が起業）。

- ・ 26年10月に当金庫（渉外・融資担当が配置されている40支店）と営業エリアが重なる日本公庫支店（5支店）との間で支店渉外担当役席者の名簿を交換。

- ・ 渉外係向けの研修へ日本公庫中国創業支援センターから講師を派遣してもらい、融資審査における日本公庫の視点などのレクチャーを受けている。

### ➤ 政策金融機関との連携による当金庫側のメリット

- ・ 協調融資は、融資希望額が信用リスクの観点から当金庫の対応可能額を超過する場合などに有効。

### ➤ 当金庫の創業融資の実績

26年度		27年度		28年度		29年度(上半期)	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
122件	2億6,200万円	172件	3億9,600万円	227件	5億8,600万円	124件	3億5,300万円

※当金庫の創業融資商品「未来」・広島県及び広島市の制度融資（預託金方式）の実績。第2創業を含む。協調融資の実績は把握していない。

【ひろしん創業支援センター「B-スクエア」】  
 <外観> <ミーティングルーム>



<オフィス>



<セミナー室>



（広島信用金庫HPより）

※広島信用金庫が運営するインキュベーション施設（当金庫単独）。地域の起業家に対し、低コストにてオフィスを提供するとともに、種々の事業サポートを実施。なお、「創業応援サロン」も当施設において開催。

# 政策金融機関との連携による地域金融機関側のメリット

- 創業者の発掘（創業希望者の情報、セミナーの集客など）
- 政策金融機関からの民間側への優良顧客（創業者）の紹介
- 民間側の対応力を超える場合などに、政策金融機関への協調融資の申し出
- 融資審査ノウハウの習得による、地域企業の立場から見た「目利き力」の向上